

未来を開く

長井市立長井北中学校 No23 令和4年6月23日

今は 未来の始まり

地区中学校体育大会が終了し、一区切りとなった今。
どこに向けて、どんな歩みをするのか、再確認したい。

結果に向き合う！

勝負事である以上「勝ち」「負け」はついてきます。

しかし、勝ったからといって人生に勝利したわけではありません。また、今後全てがうまくいくと保証されたわけでもありません。逆に、負けたからといって、自分は何をやってもダメなんだとか、選手になれなかったからといって、もう道はないなどと考える必要もありません。一時の感情に流され、不要な錯覚にとらわれないことです。人生、自分の思うようにいかないことの方がはるかに多いのです。

では、なぜ勝利に、または負けにつながったのか、この結果になったのか。どうすべきだったのか。

他人や他のチームに原因を求めることなく、「自分」を振り返る機会にする必要があります。勝敗の奥に隠れている、これまでの取り組みや努力に向き合うことが重要です。結果の基盤になったことに向き合い、前向きに生活していったほしいと願っています。

これからが本番！



「勝って兜（かぶと）の緒（お）を締めよ」ということわざがあります。敵に勝っても油断しないで、心を引き締めよという教えです。油断大敵（ゆだんたいてき）、好事魔多し（こうじまおおし）なども、同じような意味を表しています。

大会の後だからこそ、一人一人がどんな生活や学習への取り組みをすべきなのかしっかり考えましょう。

一人一人に道がある！

3年生はとりあえず、一区切りを迎えました。1、2年生は、これからのような部活動にすることを真剣に考え、目標と計画を明確にする必要があります。

3年生は、進路実現に向けて、高校のオープンスクールに参加する人、放課後の過ごし方を工夫して学習に取り組む人、県大会めざして部活動を継続する人など、さまざまな生活になります。

目標をしっかり見据えて、一日一日を過ごしましょう。

